

学習指導要領の〔共通事項〕で示された

「音楽を形づくっている要素」を知覚・感受させる

短時間活動“ムジカサイズ”の開発

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 造形・創造科学系（音楽）

今井 良剛

「音楽を形づくっている要素（以下、要素と略記）」を視点にして、子どもたちが主体的に音や音楽を思考・判断・共有し、音楽表現することが重要であると考えた。これを実現するために“ムジカサイズ”を開発した実践を報告する。

“ムジカサイズ”とは、ムジカ（音楽の意味）とエクササイズ（練習の意味）を合わせた筆者がつくった造語であり、「習得型」「活用型」「探究型」の3種類で構成した10分前後の活動として、授業の導入に配置する。加えて、“ムジカサイズ”を基盤にした年間カリキュラムの作成や授業を構成する。

“ムジカサイズ”の目的は、聴く活動（主に比較聴取）から、「要素」の知覚と感受を促して音や音楽を思考・判断・共有するきっかけとし、主体的な音楽表現につなげることである。

実践の結果、多くの子どもたちが、「要素」の視点で音楽表現の工夫と改善を行うことができた。今後は、歌唱や器楽などの領域における「要素」の整理を実践したい。